

令和 5 年度 富谷市立東向陽台小学校 学校関係者評価書

令和 6 年 2 月 9 日

学校関係者評価委員会

氏 名

氏 名

氏 名

氏 名

1 総評

(1) 本校の今年度の重点目標とその取組状況について

- ・課題を確認し、1つ1つ解決する姿勢と努力が伝わる。
- ・職員の資質向上、特にいじめ未然防止に対しての取組は昨年より成果が表れている。
- ・E S Dについては今までも教育の一環としての道徳でもなされてきたことではあるが、東向台小独自の取組として他の地域の学校との交流は得るものがあると楽しみである。
- ・学校評価（内部評価）、保護者アンケートの結果を踏まえ、各分野において重点目標に向けて前向きに取り組み、よい結果につながっている状況にあると思う。
- ・児童は心身共に日々成長している中で、学校生活はとても重要なものだと考えるので、今後も目標により近づく取組を継続して欲しい。
- ・児童一人に1台のタブレットが支給され、黒板と共に画面がある教室。学び方は時代とともに変化していきますが、「自分で考える」ことは永遠の課題と言えます。先生方は「分かる授業」の構築に努められ、児童が共に学び合う工夫をされ、児童は落ち着いて授業に取り組んでいる様子が見られました。
- ・「感染症要望と安全・安心な学校づくり」を目標とする各施策に教職員一丸となって取り組んでいる。

(2) 成果について

- ・いじめは判断が難しいこともあり、多くの目で見ることが大事。そのためにはアンケートを取った後の活用が重要で、その結果早期発見・対応・解決につながったと思う。
- ・いじめ問題について生活アンケートなどにより、未然防止・早期対応に一定の成果が出ている。
- ・「チーム学校」としての協働の推進において先生方の様々な分野で共通理解を持つ努力をし、お互いを高め合う機会を持つことで、児童の確かな学力（学ぶ力）や学級づくりに反映されている。それがひいては児童の姿姿勢に反映されると思う。

- ・保護者アンケート「6」「7」「8」で学習内容の評価が前年より向上しており評価されていることが分かります。また、「17」「18」でいじめの対応についても評価されています。アンケートで「わからない」の回答が多い項目については学校から保護者への伝え方の工夫が必要かと思えます。
- ・ユネスコスクール加盟校として他地域の方へ「富谷市のよい所」をアピールすることで、自分たちの町の発見につながるとよいと思えます。
- ・「もくもく清掃」の取組は面白いと思えました。
- ・予告なしの避難訓練は「自分の命は自分で守る」意識を育てると思えます。
- ・読書週間の確立に向けた取組により、読書に親しみやすい環境になっている。

### (3) 課題や改善を要する事項について

- ・今回、学校経営方針の中に「笑顔」を加えたということでより具体的な言葉をスローガンにして取り組むことも先生・児童両者によいことだと思う。
- ・限られた中での授業の参観であったが、どのクラスもどの学年も落ち着いた授業風景であった。また、掲示物がはがれていたり、雑巾やごみも落ちていたりしないので、細かいことではあるが、児童の日々の学校生活が落ち着いていることの表れであり、先生方の目配りもできている（余裕がある）ことだと気付いた。
- ・机に向かう姿勢がほとんど机にふせるようにして書いたり、読んだりしている児童が見受けられ、気になった。
- ・職員の働き方改革の声が表に出てくるのは良いことだ。それには相反する労力も伴ってくるが、精査して思い切って削らないと変わらない。柔軟に考えることも必要。
- ・長く続いたコロナ禍の中での学校運営、学校活動。コロナが5類になったことでまた取組方が変わったことによる対応も大変だったと思うが、コロナに限らず自然災害や事故等思わぬ出来事が起こる世の中になっていて、今後も状況に応じた対策をとりながら児童・先生方の安全を図り安心した学校生活ができることを願う。
- ・望ましい生活習慣の育成は学校だけで指導できることではないと思うので「早寝、早起き朝ご飯」に限らず、挨拶や他者を認め、思いやること等、保護者との連携を継続的に進めていって欲しい。
- ・トイレの改修は市の優先順位が下がったのでしょうか。
- ・施設の老朽化は児童の安全に関することなので、学校だけでなく地域の方・市議員の協力を得て、市に働き掛けてもらいたい。特に「和式トイレ」しかない学校が宮城県で何校あるのでしょうか。あと何年待てばよいのでしょうか。
- ・児童の学校生活環境（机、椅子、トイレなど）の早期更新・改修。
- ・学校webサイトの開示内容の充実、更新タイミングの改善。
- ・学校支援ボランティアの活用拡大。
- ・「とみここ」との連携。

## 2 各領域等の評価

領域	評価の観点	評価	意見・改善案等
学校運営	1 開かれた学校づくり	A	・関係者評価の有用性が共有されていないようなので残念。(1意見)
	2 魅力ある学校	A	・学校 web サイトの開示内容、更新タイミングの充実改善を希望する。(1意見・改善)
	3 施設・設備	B	・先生方の向上心と一生懸命さ、互いを尊重し合う心は子供たちに伝わっていると思う。(2意見)
	4 安全管理	A	・手すりの補修の件、早い対応でよい。古い施設を丁寧に使用している。(3意見)
	5 教職員の資質の向上	A	・施設・設備の老朽化は経年と共に出てくることであるが、安全点検、早めの対応をして児童が安全に学校生活を送れるようにしている。(3意見)
	6 特色ある教育活動等	A	・明石台地区は今後児童数の増加も考えられるので、それを見据えた施設設備の充実を図って欲しい。(3意見・改善) ・机や階段の手摺りの古さから児童のけがにつながる可能性があるため、計画的に購入や修理をしていただきたい。(3意見・改善) ・児童用の机・椅子、トイレの更新を希望する。(3意見・改善) ・公開授業を通して先生方は資質向上に取り組んでいる。(5意見)
教育課程	1 確かな学力	A	・教室に専科の先生が入ることできめ細かい対応ができるような努力している。(1意見)
	2 豊かな心身	A	・各教科を学ぶベースとなる読解力・国語の力に注力。(1意見)
	3 特別活動	A	・「たけのこ祭り」などで上級生が活躍する場があり、自己肯定感が高まり、よい。(3意見)
	4 生徒指導・教育相談	A	・これからも目立たない、手のかからない子に対しても見守り指導をお願いしたい。(4意見)
	5 特色ある教育活動等	A	・別室支援、支援室の設置確保ができ、よかった。(4意見) ・ESD、ユネスコスクールの取組が有効であるか疑問。(5意見)
課題教育	1 環境教育	A	・専門家による5年生のLINE教室は続けてほしいが、5年生だけでよいのだろうか。日々変わる情報社会、順応しても振り回されてはいけないことを学んでほしい。(2意見)
	2 情報教育	A	・スマホの普及に伴い5年生のLINE教室が有意義に思える。SNSトラブルの予防のためにもモラルを教えてもらいたい。(2意見)
	3 特別支援教育	A	・特別支援教育の対応が丁寧。(3意見)
	4 図書館教育	A	・支援員・専科の先生の配置によって、個々の特性に応じた指導がより充実して行われている。(重点努力事項の中の「誰も取り残さない学校づくり・行きたい学校づくり」(学校に居場所がある)に向かっていないのか。(3意見)
	5 健康教育	A	・図書室で調べ物をしたり読み聞かせがあったりと、充実している。(4意見)
	6 特色ある教育活動等	A	・読書習慣の確立に向けた取組はとてもよい。(4意見)
地域との連携について		B	・コロナが5類に移行してから支援やボランティアが復活してよい。また、省いてよいものは思い切って省いてもよい。(意見) ・つなぐ取組では先生方の理解も深まり、地域のボラ

		<p>ンティアさんが学校に行きやすくなり、児童との交流を通じ、学校理解につながっている。(意見)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・地域ボランティアさんを活用し交流を図っている。(意見)</li> <li>・上の領域とも関連するが、ボランティアの一層の活用を希望する。(意見)</li> </ul>
いじめ問題への取り組み	A	<ul style="list-style-type: none"> <li>・アンケートの有効な実施で未然防止対応につながっている。職員室で共有していることがよい。(意見)</li> <li>・いじめ問題はとても難しいと思う。変化に早く気づき、しかも慎重に対応して学校全体で解決に取り組んで欲しい。(意見)</li> <li>・いじめの認知件数が減っているとのこと、先生たちに感謝です。研修会を開催されていたのですね。(意見)</li> <li>・生活アンケート、先生の研修会等の取組を維持されたい。(意見)</li> </ul>